

神鍋インバウンドプロジェクト ～雪を活用したインバウンドプロモーション～

神鍋では、多くのスポーツ合宿を受け入れる夏が最繁忙期で、**その他の季節へ観光客を誘客することが課題**となっています。豊岡観光イノベーション (TTI) は、昨年からの地域と共々、神鍋に外国人観光客を誘致する「**神鍋インバウンドプロジェクト**」に取り組んでいます。

今年度は、**雪遊び、スノーアクティビティ**をコンテンツとして、雪の降らない**東・東南アジア (主に台湾、タイ、シンガポール)**に向けて、**プロモーション** (Facebook広告、Google Adwords広告、観光フェア等) を行っています。この冬は、主なPR対象国の台湾、タイ、シンガポールに加え、中国、香港、フィリピン、アメリカ、オーストラリア、イギリス等からもスノーアクティビティをするため、当地を訪れています。さらに多くの旅行者に訪問いただき、長く滞在していただけるような働きかけを引き続き行っていきます。

また、タイの訪日旅行ハイシーズンである4月の誘客を狙い、**TITF (Thai International Travel Fair : タイ国際旅行フェア)**に出展しました。TITFに向けて、新たな体験プログラムを4本作成し、旅行目的地としての情報発信を行いました。**4月のソングラン (タイのお正月でタイ最大の大型連休)**に多くのタイ人に訪れていただけることを期待しています。



冬の神鍋をPRするために、新たに作成した**英語のランディングページ**

- ①**神鍋・城崎の紹介** に加えて
- ②**宿泊施設の予約ページ**
- ③**アクセス (全日バス運行スケジュール)** にリンクしています。

★**タイ語Ver.も制作!**

タイ人の訪日旅行に関する意向調査

2017年の訪日外客数 国別ランキング第6位のタイ (987,100人 *日本政府観光局 (JNTO) 推計値)。2012年からタイ人の訪日市場に取り組んでいる (株) アジア・インタラクショナル・サポートが実施した意向調査について、お知らせします!

【調査概要】

- ・調査方法：インターネットアンケート調査
- ・調査期間：2017年11月10日～同年12月10日
- ・有効回答数：2,810

★人気観光スポットランキング (行きたいスポット)

城崎温泉 第27位

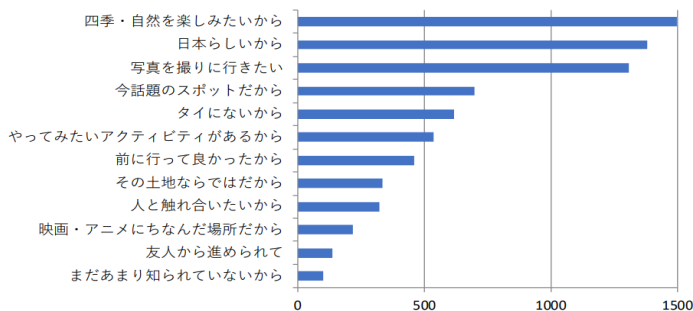
- ・1位 富士山、2位 白川郷、3位 USJ、4位 TDR と**世界遺産とテーマパーク**が上位を占める
- ・並みいる**温泉地の中で、城崎温泉がトップ** (草津温泉：40位、有馬温泉：47位、銀山温泉・宝川温泉：50位、乳頭温泉：55位、黒川温泉：63位)
- ・13位 姫路城、47位 天橋立、55位 鳥取砂丘、68位 竹田城と**近隣のスポットもトップ100入り**

★人気の街ランキング (行きたい市町村・地名)

城崎 第47位

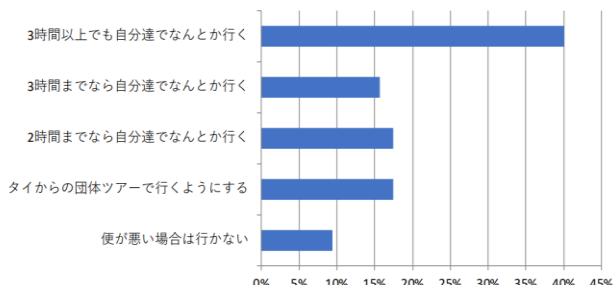
- ・1位 富士山地域、2位 京都、3位 白川村、4位 大阪 と**関西の2都市**が上位にランクイン
- ・12位：奈良、19位：神戸、29位：姫路、35位：鳥取
- ・東京各地、富士山、大阪は初訪日者の支持が高く、**リピーターには地方が人気** (リピーター投票率上位9位：高山、11位：小樽、15位：広島、函館、24位：松本、28位：仙台、30位)

★投票した観光地に行きたい理由



TOP3 四季・自然、日本らしさ、写真撮影

★行きたい観光地へのアクセスが不便な場合どうしますか?



不便な場所でも、行きたい場所 (魅力的な観光地) には自分たちで何とか行こうとする!

※ (株) アジア・インタラクショナル・サポート・・・タイ人に日本旅行情報で最も利用されるインバウンドWebメディア「Chill Chill Japan (チルチルジャパン)」、TripAdvisorの「外国人に人気の日本の旅館2017」で全国1位に選ばれた京都の旅館「京町家 楽遊 堀川五条」を運営

会員トピックス

TITF（タイ国際旅行フェア）でのプロモーション



左：中島丈裕さん
右：飯田雄樹さん

今月タイで開催されたアジア最大級の国際旅行フェア「TITF」に、神鍋ハイランドの中島丈裕さん、かんなべ高原 高原亭の飯田雄樹さんと共に出展しました。今年で3回目の参加になりますが、タイにおける城崎温泉の認知度の高さと訪問者の満足度の高さを実感しました。今回の出展では、城崎周辺の自然アクティビティスポットとして、神鍋高原を売り込みました。

★中島丈裕さん・飯田雄樹さんにお話を伺いました！

（中島さん）

昨年に引き続きの参加となりますが、いざ現場に入り感じたことは、昨年は、兵庫？城崎？神鍋？？といった反応だったのに対し、今年は、“こないだ城崎に行ったよ”、“今度行きます”といった声が多かったこと。1年で大きく変化する市場への驚きと可能性を実感しました。また今回は、姫路の皆様と出展したことで、今後の可能性を更に広げていく大切な機会になったとも感じました。これからも一歩一歩着実に歩みを進めていきたいと思ひます。

（飯田さん）

“現地を感じる大切さ”を実感しました。1年かけTTIとの事前協議を元に参加させて頂き、ブースでは、旅館や温泉、城崎温泉へのアクセス、近隣観光スポットなどの問い合わせに対応しました。タイ人旅行者数増のデータも出ている中、豊岡市への更なる旅行者増加の期待に胸が膨らみました。今後は、豊岡地域全体で連携しつつ、プログラムの造成やモニターツアーの受入を行い、豊岡市が掲げる2020年10万人泊を共に目指していきたいと思ひます。

訪日インバウンドNews

2017年訪日外客数 前年比19.3%増の2,869万1千人で過去最多

2017年の訪日外客数は、2,869万人を超え、過去最多となりました。市場別でも、主要20市場全てで過去最高を記録し、中でも、東アジアの韓国と中国が700万人台に達し、東アジア4市場（韓国・中国・台湾・香港）は、前年比21.9%増の2,129万2千人と訪日外客数全体の70%以上を占めました（2016年比：1.5ポイント増）。

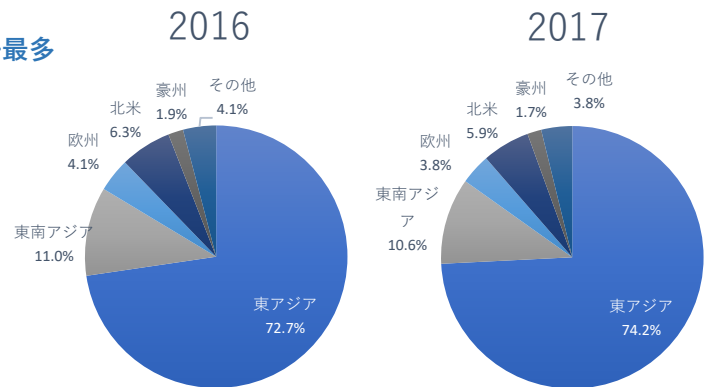
2017年の伸び率NO.1は、長らく外国旅行需要自体の低迷が続いていたロシア（対前年比40.8%増）です。ロシアでは、極東地域発の新規就航・増便による航空運賃の値下げ、ビザ要件緩和の影響により、大幅な訪日者数増となり、特に4月の桜鑑賞を目的としたツアーの人氣は高く、4月は前年同月比66.6%増という大きな伸びとなりました。

豊岡市のインバウンド概況

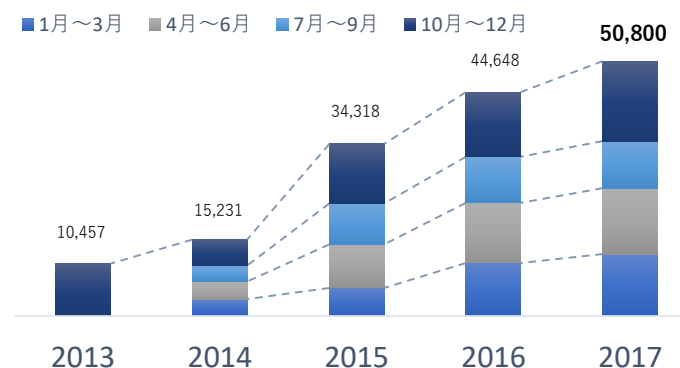
2017年豊岡市の外国人延べ宿泊者数 5万人を突破

2017年の豊岡市における外国人延べ宿泊者数は、50,800人泊と前年比13.8%増となりました。2016年と比較すると、伸びは鈍化しており、特に全体の20%以上のシェアを占める中国が昨年よりマイナスとなったこと、韓国の増加率が前年比1.2%にとどまったことが要因と思われる。

豊岡市を訪れる外国人の9割を占める城崎温泉における国別の外国人延べ宿泊者数は、中国が最も多いものの、次ぐ香港（対前年比29.3%増）、台湾（38.9%増）、タイ（45.2%増）は高い伸びを示し、豊岡市が情報発信に力を入れているフランス（28.5%増）も順調な伸びを示しました。



※参照データ：日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数 2017年は推計値



※参照データ：豊岡市の外国人延べ宿泊者数

お知らせ：2018年3月8日（木）TTIインバウンドセミナー開催！！